

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01	
施設名	清掃リサイクル事務所			
所在地	町屋五丁目19番1号			
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和45年7月(旧館)	219,907		
増改築①	昭和61年3月(新館)	—		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和45年7月	職員数	77人	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	新館: 地上3階	旧館: 地上4階
面積	敷地面積		1,855 m ²	
	延床面積	新館: 735.85m ² 旧館: 1082.75m ²		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)			
関連部署	環境課			
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等			
駐車場の状況	有	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	有	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



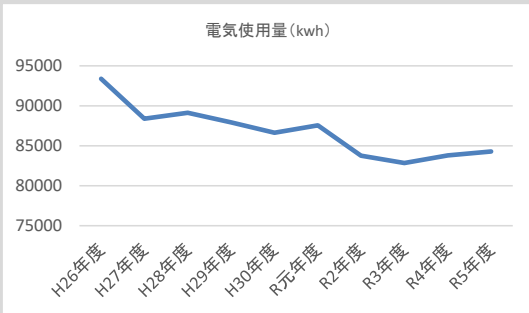
管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	83,746	82,842	83,787	84,275	-
	ガス使用量（m3）	32,576	32,202	33,858	33,662	-
	水道使用量（m3）	6,172	5,991	5,883	6,134	-
に指定 用等 に係る 管理 費						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

行政コスト計算書	勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
	行政費用	給与関係費	560,775	600,741	39,966	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	24,260	23,118	▲ 1,142		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	3,068	1,066	▲ 2,002		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	158	159	
		減価償却費	3,967	5,147	1,180		その他	144	131	▲ 13
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	302	290	▲ 12
		賞与・退職給与引当金繰入額	28,381	95,750	67,369		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 620,149	▲ 725,532	▲ 105,383
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		620,451	725,822	105,371	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 620,149	▲ 725,532	▲ 105,383	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 620,149	▲ 725,532	▲ 105,383			
貸借対照表	勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		28,054	34,114	6,060
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	401,503	396,720	▲ 4,783	賞与引当金	28,054	34,114	6,060	
		土地	326,611	326,611	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	278,181	278,181	0	固定負債	573,446	642,541	69,095	
		建物減価償却累計額	▲ 203,289	▲ 208,072	▲ 4,783	特別区債	0	0	0	
		工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	573,446	642,541	69,095	
		工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	601,500	676,655	75,155		
建設仮勘定		0	0	0	正味財産	▲ 199,270	▲ 278,083	▲ 78,813		
その他の固定資産		727	1,852	1,125	正味財産の部合計	▲ 199,270	▲ 278,083	▲ 78,813		
資産の部合計		402,230	398,572	▲ 3,658	負債及び正味財産の部合計		402,230	398,572	▲ 3,658	
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話等の使用料で、「その他」は自動販売機等の電気等使用料及び軽小型貨物車の廃車に伴う自動車重量税の還付金である。「その他の固定資産」は重要物品(清掃車両等)の減価償却後の現在価格である。									

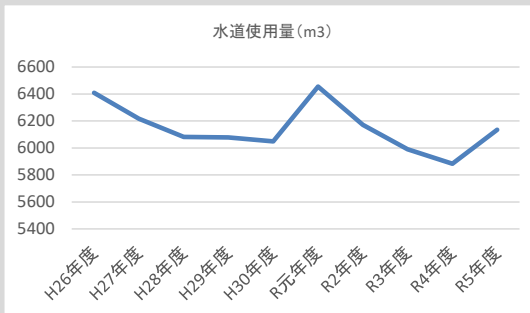
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	82	81	73.4	75.1	
	1㎡あたりコスト(円)	403,389	397,240	341,170	399,110	
備考	コスト(行政費用)について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	目標値 実績値						
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持		○ 民営化 ○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少に伴い、代替となる雇上会社清掃車両等の駐車スペースが、将来的に不足する可能性がある。						
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○南千住清掃車庫の有効活用を図り、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。						
議会、利用者等からの意見							



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量は横ばいである。

I 施設の概要		施設コード	S07-02-02	
施設名	南千住清掃車庫			
所在地	南千住四丁目1番8号			
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
	建築	平成12年2月 380,197		
	増改築①			
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	平成12年2月		区職員	その他
供用開始年月日	平成12年4月	職員数	8人	
構造	鉄骨造	階層	管理棟: 地上3階	洗車棟: 平屋
面積	敷地面積		1,900 m ²	
	延床面積	管理棟: 994.80m ² 洗車棟: 123.52m ²	m ²	
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)			
関連部署	環境課			
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等			
駐車場の状況	有	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ



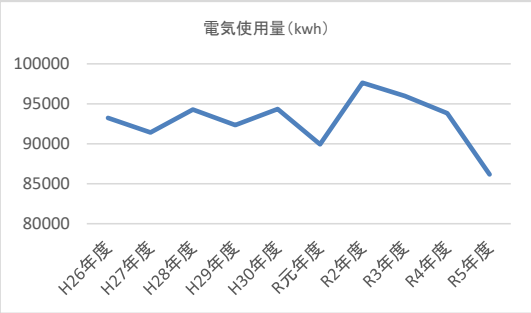
管理形態	直営	—	期間	— —	から まで	
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、運転業務等従事職員の執務室等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	作業（開所）日数（日）	310	310	310	310	310
	電気使用量（kwh）	97,630	95,961	93,809	86,167	-
	ガス使用量（m3）	7,356	7,118	6,902	6,301	-
	水道使用量（m3）	1,969	1,943	1,902	1,852	-
に指定 用等 に係る 管理 費						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

行政コスト計算書	勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
	行政費用	給与関係費	61,259	52,299	▲ 8,960	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	8,952	7,547	▲ 1,405		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	837	119	▲ 718		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	75	75	0
		減価償却費	13,072	14,435	1,363		その他	88	73	▲ 15
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	163	148	▲ 15
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,100	8,336	5,236		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 87,057	▲ 82,588	4,469
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)		87,220	82,736	▲ 4,484	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 87,057	▲ 82,588	4,469	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 87,057	▲ 82,588	4,469	
貸借対照表	勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		3,065	2,970	▲ 95
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	860,248	853,513	▲ 6,735	固定負債	賞与引当金	3,065	2,970	▲ 95
		土地	733,400	733,400	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物	416,469	424,169	7,700		固定負債	62,643	55,938	▲ 6,705
		建物減価償却累計額	▲ 289,620	▲ 304,056	▲ 14,436		特別区債	0	0	0
		工作物等	64,856	64,856	0		退職給与引当金	62,643	55,938	▲ 6,705
		工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0		その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	65,708	58,908	▲ 6,800
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産	794,540	794,605	65
		その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	794,540	794,605	65
		資産の部合計	860,248	853,513	▲ 6,735		負債及び正味財産の部合計	860,248	853,513	▲ 6,735
	備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料で、「その他」は自動販売機・コミュニティバス乗務員控室の電気等使用料である。建物資産の増は空調設備改修工事によるものである。								

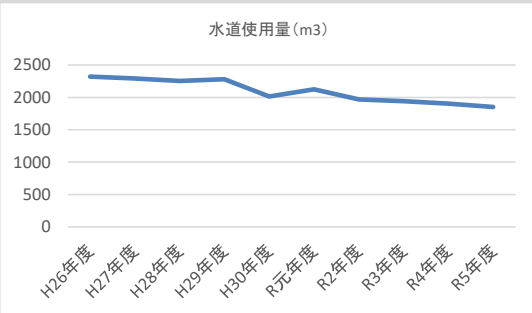
	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	74	73.6	75.4	
	1㎡あたりコスト(円)	85,123	85,701	77,992	73,982	
備考	コスト(行政費用)について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
			目標値				
			実績値				
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持		○ 民営化 ○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等						
現状・課題	○竣工から約20年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数及び職員数の減少に伴い、施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量はほぼ横ばいである。

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03	
施設名	あらかわりサイクルセンター			
所在地	荒川区南千住三丁目28番6号			
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
	一般財源			
建築	平成28年	862,058		862,058
増改築①				
増改築②				
併設施設	-			
竣工年月日	平成28年9月16日		区職員	その他
供用開始年月日	平成28年10月10日	職員数	5	
構造	鉄骨造	階層	2階	
面積	敷地面積		1,999	m ²
	延床面積		1,578	m ²
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。			
関連部署				
根拠法令等	廃棄物処理法第6条の2第1項			
設置条例	容器包装リサイクル法第6条第1項			
駐車場の状況	2台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	20台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ



管理形態	直営	—	期間	—	から
				—	まで

事業内容	(1)区内から回収した資源（びん、缶、トレイ、ペットボトル）の中間処理 (2)区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3)リサイクル資源を使った工房・教室の実施
------	--

対象者	区民	
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分
	休日	日曜日、年末年始

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
施設基本データ等	開館日数	310	310	310	310	308
	来場者数（団体見学、工房等）	212	2,244	2,130	2,383	2,308
	工房・教室回数	39	61	74	78	78
	工房・教室参加者数	127	239	364	425	430
	工房・教室参加率（％）	85	88	74	69	70
	施設見学実施小学校数	0	24	24	24	24
	資源中間処理量（t）	2,949	2,947	2,853	2,824	2,951
指定管理に係る費用等						

平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。（令和2年度は感染症拡大防止のため中止）令和2～4年度の工房・教室は実施規模（回数、定員）を縮小して実施。令和5年度から従前の規模に戻した。資源中間処理量は令和元年度まで微増、令和2年度は増加幅が大きく、その後は同程度の状態が続いている。

勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
------	--	------	------	----	------	--	------	------	----

行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	25,338	25,520	182	地方税等	0	0	0
		物件費	28,518	28,310	▲ 208	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	367	411	44	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	675	664	▲ 11
		減価償却費	36,468	36,468	0	その他	85	73	▲ 12
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	760	737	▲ 23
		賞与・退職給与引当金繰入額	1,282	4,068	2,786	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 91,213	▲ 94,040	▲ 2,827
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 340	▲ 304	36
		行政費用合計(b)	91,973	94,777	2,804	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 91,553	▲ 94,344	▲ 2,791
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 91,553	▲ 94,344	▲ 2,791

		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	37,525	37,742	217
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	36,257	36,293	36
	固定資産	有形固定資産	615,622	579,154	▲ 36,468	賞与引当金	1,268	1,449	181
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	767,791	767,791	0	固定負債	302,679	267,772	▲ 34,907
		建物減価償却累計額	▲ 207,012	▲ 241,514	▲ 34,502	特別区債	276,769	240,476	▲ 36,293
		工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	25,910	27,296	1,386
		工作物等減価償却累計額	▲ 11,793	▲ 13,759	▲ 1,966	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	340,204	305,514	▲ 34,690
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	275,418	273,640	▲ 1,778
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	275,418	273,640	▲ 1,778
		資産の部合計	615,622	579,154	▲ 36,468	負債及び正味財産の部合計	615,622	579,154	▲ 36,468

物件費の主な支出は、光熱水費、施設の維持管理に係る保守委託料、土地賃借料である。行政収入の「使用料及び手数料」は、施設運営の委託業者からの目的外使用料であり、「その他」は同委託業者からの目的外使用に伴う光熱水費受入である。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	18	22	26.2	30.6	
	1㎡当たりコスト（円）	58,542	63,801	58,292	60,069	
	人にかかるコストの割合（％）	33	30	28.9	31.2	
備考	1㎡当たりのコスト及び人にかかるコストの割合は、ほぼ横ばい状態で推移している。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	団体来場者数	目標値 実績値	500 22	1,600 1,947	2,100 1,693	2,200 2,383	2,300
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	区内におけるリサイクルの啓発活動の拠点となることが求められている。						
現状・課題	○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。 ○通年実施の工房のほか、夏休み等の時期に子ども向け工房を実施し、好評を得ている。令和2～4年度は感染症拡大防止のため定員を縮小するなどして実施した。その後は感染症の状況を注視しながら従前の定員に戻すなど参加者増を図っている。 ○来場者は、南千住地域からの割合が多いため、区内の各地域からの来場者拡充を図る工夫が必要である。 ○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、施設を安定的に稼働することが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。 ○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。 ○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。 ○資源の中間処理施設として、引き続き安定稼働できるよう運営・管理を行う。						
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会 「普及啓発の拠点としての活用」						